

北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進状況について

北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について、現在までの動きや協議状況などについて報告します。

1. ボールパーク開業に伴う新駅（案）について

12月11日、北海道旅客鉄道株式会社（JR北海道）の社長定例記者会見が実施され、現在、検討・調査が進められているボールパーク開業に伴うJR新駅案について発表がありました。

JR新駅（案）概要 ※JR北海道定例記者会見資料より抜粋

① 検討基準

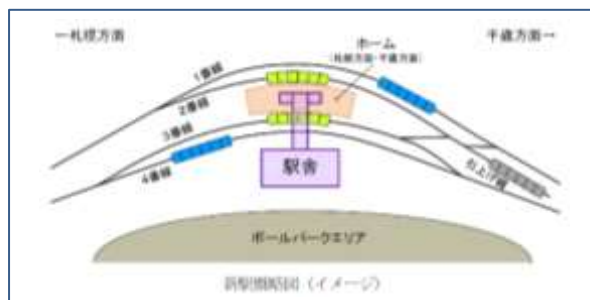
- ・ ナイター終了時など、一時的にお客様が集中しても安全にご利用いただける設備
- ・ 快速エアポート等の列車通過時のお客様の安全を考慮した構内配線
- ・ 新駅始発の臨時列車対応可能な引き上げ線の配置
- ・ ボールパークからのスムーズな移動ルートの確保

② 工事費（概算）

- ・ 駅部分 80～90 億円規模（駅舎、線路敷設、信号設備改修、システム改修等含む）

③ 工期

- ・ 約 7 年（設計・行政手続等含む）



2. オール北海道ボールパーク連携協議会について

近隣 14 市町村及び民間企業などが参画する「オール北海道ボールパーク連携協議会」に基づく、各分科会を開催しました。

実施概要

① 食の魅力提供分科会 10月4日、12月3日

<実施内容>

- ・各自治体の持つ食の魅力を洗い出し、ボールパークとの相乗効果イメージの共有
- ・現在の球団の取組と連動させた、具体的事業案の検討

② 周遊策分科会 10月4日、12月3日

<実施内容>

- ・ボールパークと各まちの魅力を合わせ、圏域全体の魅力向上イメージの共有
- ・来場者の圏域周遊策の確立に向けた、プレ事業等の検討

③ スポーツ・人づくり分科会 10月7日、12月4日

<実施内容>

- ・各市町村における「スポーツ」に付随する取組の多様性を理解
- ・ボールパークと共に、地域に新たなスポーツの価値を還元できる施策を検討

④ 交通分科会 10月15日、12月23日(予定)

<実施内容>

- ・道路、鉄道、バス等、分野ごとに検証している交通体系の整備内容、検討状況についての情報共有と共通課題の整理
- ・開業前からの定期的な情報発信、周知の方策について検討

3. パートナー協定に基づく連携事業の実施について

北海道日本ハムファイターズと締結しているパートナー協定に基づき、学校教育との連携事業を実施しました。

実施状況

○ 学校教育との連携

11月16日（土） 西の里小学校

- ・ 体育授業（5年生 77名、6年生 76名）※授業参観・地域公開
- ・ ランニング及びスローイングメニューによる走力・投力向上
- ・ ゲームを通じた実践発揮能力・コミュニケーション能力向上

11月19日（火） 大曲中学校

- ・ キャリア教育授業（1年生 153名、2年生 147名、3年生 168名）
- ・ 夢の実現や挑戦をテーマとした講話を実施
- ・ 多くのチャレンジと共に歩んできたファイターズの歴史について紹介

11月22日（金） 西の里中学校

- ・ キャリア教育授業（1年生 77名、2年生 76名、3年生 65名）
- ・ 現役時代の出会いや経験を通じて学んだ6つの思考をテーマに講話を実施
- ・ 失敗や緊張、不安等との向き合い方について紹介



西の里小学校



大曲中学校

4. 環境保全に向けた取組について

アクセス道路の整備にあたっては、自然環境との共存に向け、環境に関する意見交換会や保全措置の検討など、環境保全に向けた取組を行っています。

(1) これまでの経過

各種整備に伴う、野幌原始林を含む周辺自然環境への影響を把握し、影響を最小限とする保全対策の検討を目的として、環境調査を実施。

昨年7月から本年7月まで通年で実施した環境調査は、北広島環境審議会、緑のまちづくり審議会及び専門家の意見や助言に基づき行っており、その調査において、動植物の重要種が複数確認された。

現在までに学識経験者の意見や助言を踏まえ、一部の植物の移植、ザリガニの移植を行っており、引き続き、継続的な環境調査や保全措置を実施。

また、昨年11月より、自然保護団体との意見交換会を実施しているが、道路設計の進捗により内容が具体化してきており、現在は、学識経験者を交えた意見交換会に移行。

今後も自然環境との共存に向け、定期的な意見交換を実施していく。

(2) 学識経験者

市内の自然保護団体を含む4団体から推薦された学識経験者に対し、北広島市より継続的な意見交換会への参加を依頼。

学識経験者は植物、鳥類、両生類、コウモリ及びエゾシカの5つの分野を対象としており、これらも自然保護団体から提案された分野を選定している。

(3) 調査及び保全措置の実施状況

- ・ 10月16日～10月18日 コウモリ調査（予備調査）
- ・ 11月14日～3月23日 鳥類調査（重要種調査）
- ・ 8月28日～12月10日 環境保全措置（植物移植、ザリガニ移植）

なお、これまでに通年で実施してきた環境調査では、コウモリを対象としていなかったが、意見交換会の中で出された自然保護団体からの要望により、追加調査を実施する。

(4) 情報発信

意見交換会の内容については、当市HP等での情報発信を予定。

(5) 北海道政策評価

11月7日に開催された北海道政策評価委員会において、ボールパークへの新設アクセス道路として整備する仮称・きたひろしま総合運動公園線が、付帯意見を付け要望を行うことは妥当とし、北海道における事業化が了承された。

5. 関係機関との協議について

(1) 北海道ボールパーク（HBP）、球団との協議

■ インフラ整備について

新設アクセス道路のほか、交通計画や渋滞対策、また、歩行者動線などについて協議。合わせて周辺道路や都市公園に関する協議も引き続き実施。

■ 連携事業について

今年度の連携事業について、実施内容を整理。来年度に向けて各部局からの事業案及び方向性について開催時期・内容などを調整。今後想定している取組などについても協議。

■ オール北海道ボールパーク連携協議会について

事務局を担う当該協議会の次回開催内容や、各分科会の内容・結果などについて整理。次年度以降に取組可能な事業展開などについて協議。

(2) 北海道庁との協議

■ 道路及び公園整備に関する協議

新設アクセス道路及び既存道路の整備スケジュールの確認・調整及び10月から粗造成を開始した総合運動公園内の整備内容について協議。

■ 総合運動公園に係る都市計画について

ボールパーク周辺の道路整備に係る都市計画道路、都市計画公園、都市計画緑地及び都市計画下水道（公共下水道、都市下水路）の変更及びボールパークの開発手法について引き続き協議。

■ 防災機能の活用について

道と市における防災拠点機能の活用方策について、防災備蓄倉庫の設置場所や規模、また、運用方法などを協議。

(3) JR北海道との協議

■輸送力強化及び現駅の改修、新駅の方向性について

月1回のペースで実施している実務者協議において、現駅改修のスケジュールやその内容について協議を進めているほか、工事に係る具体的な内容については、担当者レベルでの協議を適宜実施。

ボールパーク開業後の現駅及びエルフィンパークのオペレーション方策についても、双方で協力しながら具体の検討を開始。

また、新駅に関する協議も継続して実施しており、現在、JR側で進めている現地調査について、必要な手続きや資料等についての確認などを実施。

(4) 近隣市町村との協議

■オール北海道ボールパーク連携協議会

7月9日に設立した「オール北海道ボールパーク連携協議会」の枠組みにおいて、近隣自治体及び民間企業の参加による各種分科会を開催。（再掲）

(5) 関係機関との協議

■交通関係機関及び交通事業者

道路管理者や交通事業者と、各種シミュレーションを行いながら対策が必要なポイント等を洗い出し、ソフト的な対応策を含め適宜協議を実施。

■自然保護関係団体

新設アクセス道路整備に関する環境保全対策について、また、道路や駐車場整備、自然環境との共存に向け、定期的な意見交換を実施。

事業が具体化していく中で、有識者も交えた意見交換を開始。

6. 今後の予定について

- 第3回ボールパーク圏域連携勉強会（R2/1/24）
- 第2回オール北海道ボールパーク連携協議会（R2/2/25）